

単元名 **にっぽんのうた みんなのうた(2)**

配当時間 **1 時間**

単元の目標 (1) 互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けることができる。
(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

04070106_001

【教材名】まきばの朝（歌唱 共通教材）

(P. 24～P. 25)

【準備等】範唱CD（牧場の様子を写した写真やビデオ，初夏の田園風景の写真やビデオ）

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「まきばの朝」（共）を情景を思い浮かべながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範唱を聴き，曲の感じをつかむ。 ★ まきばの様子を思いうかべながら歌おう ○ 教科書の写真などを基に，情景を思い浮かべる。 ○ 歌詞の言葉について，注釈を参考にして内容を理解する ○ フレーズを意識し，音程に注意して歌詞唱する。 ○ 情景を思い浮かべ，曲想に合った声で歌詞唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの情景の違いを生かして，様子や気分にあった表現をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やビデオを見せて，情景を具体的に想像させる。できるだけ数多くの資料を準備し，自由にイメージさせることが大切である。 ・難語句の説明をする。 ・詩を読んだり範唱を聴いたりして，情景を思い浮かべ，景色や時の移り変わる様子，聞こえてくる音などを感じ取らせる。 ・1 番から 3 番までの情景の違いを捉えさせる手掛かりとして，「きりの海」「黒い底から」「きりに包まれ」「日のかげに」「あかい光に染められた」など，歌詞にある景色を表す色を比べさせる。 ・なめらかに，遠くのものに歌いかけるようにさせるとよい。 ・息継ぎの前の音が短くならないように気を付けさせる。 <p>【共通事項】フレーズ</p> <p>【評】互いの歌声や伴奏を聴き，声を合わせて歌う活動を通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレーズを意識させ，夜明け前から日の出までの牧場の様子を思い浮かべさせる。 <p>【評】歌詞や曲想を生かして表現する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】